

交通安全指導員委嘱状交付式

4月1日、役場防災研修センターで虻田町交通安全指導員委嘱状の交付式が行われました。

今回委嘱された指導員は、男性16人、女性3人の計19人。任期は平成19年3月31日までの2年間です。

交付式で、長崎町長から「日頃の活動に心より感謝するとともに、交通事故防止のためこれからも頑張ってください」との挨拶があり、委嘱を受けた指導員の一人ひとりがその責任を痛感していました。



委嘱を受けた交通指導員の皆さん

虻田産のホタテが大人気 神戸震災イベントで販売

町は3月26・27日に開催の神戸被災地物産交流フェアに職員を派遣し、虻田町特産のホタテ串焼3千本を安価で提供し地元との交流を深めました。

このフェアは阪神淡路大震災10周年イベントとして、神戸市などが開催。町は5年前の被災者集会に職員を派遣して以来、神戸市との特産品交流を続けており、有珠山で被災した虻田町をはじめ台風被害に遭った兵庫県豊岡市、など神戸市の呼びかけに応じた国内外の被災地が参加。会場となったマリニピア神戸



好評を博した虻田のホタテ

には炭火で仕上げた虻田産ホタテを買い求める多くの市民で賑わいをみせ、売上の一部を被災地支援として寄付を行いました。

○まちのわたい

旧見晴台の方位指示盤がお引越し

4月22日、洞爺湖ロータリークラブは、旧国道230号の見晴台に設置していた方位指示盤を、町道泉公園線の展望広場に移設し、その除幕式が行われました。

この指示盤は、同クラブの設立（昭和44年）を記念して、観光地に残る事業として設置したのですが、その後2回の有珠山噴火災害を経て、泉の旧西胆振消防組合庁舎に保管していました。

今年、国際ロータリー創立100年の節目ということもあ



移設を終えたロータリークラブの皆さんと関係者

り、記念事業として、同指示盤を新たに移設することになったものです。

カラオケ愛好会、20年を祝う

虻田町カラオケ愛好会は、4月11日観光ホテルで、創立20周年の記念式典と祝賀会を開きました。

同会は、昭和61年4月9日カラオケ愛好者が集い発足。現在は山下真司さんの指導で毎月3回練習に励んでいます。また、ボランティア活動にも力を入れ、ふるりの丘総合福祉館への慰問やチャリティへの参加など幅広い活動を展開しています。

式典には、22人が参加し、これまでの歴史を振り返ると同時に



20周年を迎え喜びの会員

に自慢のノドで20周年を祝いました。